対人関係　ｘ　学習意欲

仮説を立てる：２つ以上の変数で考える

量的変数　頻度など

質的変数　あるor無し

関連　影響　違い

対人関係

**対人関係  
たいじんかんけい  
interpersonal relations**

集団生活が続けられるうちに，[メンバー](https://kotobank.jp/word/%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%90%E3%83%BC-9309)相互の間に形成されるある特徴的な心理的関係や[相互作用](https://kotobank.jp/word/%E7%9B%B8%E4%BA%92%E4%BD%9C%E7%94%A8-89328)の[パターン](https://kotobank.jp/word/%E3%83%91%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%B3-11750)をさす。これにはたとえば協力，競争，支配，服従などがあるが，これらはメンバーの適応や[動機づけ](https://kotobank.jp/word/%E5%8B%95%E6%A9%9F%E3%81%A5%E3%81%91-103294#E3.83.96.E3.83.AA.E3.82.BF.E3.83.8B.E3.82.AB.E5.9B.BD.E9.9A.9B.E5.A4.A7.E7.99.BE.E7.A7.91.E4.BA.8B.E5.85.B8.20.E5.B0.8F.E9.A0.85.E7.9B.AE.E4.BA.8B.E5.85.B8)などに影響を及ぼすとともに集団全体の特性にも影響する。

出典｜*ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典*ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典について

対人関係の心理学では、自他についての認識の仕方、相手に魅力を感じる条件などが詳しく研究されているが、前者からは認知的バランスの理論や帰属過程の理論などが生まれ、後者では物理的近接の要因や自分にとってなんらかのプラスになるという強化の要因などがあげられている。また、対人関係の基本的な側面としては、協同か競争か、友好か対立か、上下か対等かといった三方向が考えられている。［辻　正三］

対人関係　ｘ　学習意欲

普段講義を受けているときの友人関係が良好⇨学習意欲が高い

講義中ストレスを感じづらい⇨講義に集中出来る

大学でのクラブ、サークル活動が良好⇨学習意欲が高い

クラブ、サークル活動が良好なのでストレスを感じづらい⇨講義に集中出来る

学外での活動を行っている⇨学習意欲が高い

夢が明確化されている⇨学習意欲が高い

学習意欲が高いとは？

[対人関係]　永守

* 自己開示の多さ
* 第一印象の良さ
* 感情表現の多さ
* 話しかける言葉の内容がポジティブである

[対人関係]　大友

* 相手が（自分が）自分に（相手に）何を期待するか
* 相手が（自分が）自分に（相手に）何をするか
* 相手が（自分が）自分に（相手に）どう思うか
* 協同か競争か、友好か対立か、上下か対等か

[学習意欲]　永守

* 意欲が長く持続する
* 学習する人数の多さ
* ポジティブな感覚を持っている
* 目標を持って学んでいる
* 集中力が高い
* 学ぶ姿勢が積極的である

[学習意欲]　大友

* 内発的動機づけ
* 外発的動機づけ
* 学習に魅力を感じているか
* 目標を持っているか
* 目標に到達できるという期待感を持っているか
* 教員が自分に対し期待しているか
* 教員から質問されることに不安感をもつか
* 教員は自分を誉めるか
* まわりのひとが自分に対し期待を抱いているか
* まわりの人から質問されたことに不安感をもつか
* まわりの人はあなたを誉めるか